

旅の思い出を印象づけるおすすめばかりの逸品。

青森のおみやげ



青森りんご

青森市の中でりんご栽培が盛んな地域は浪岡地域で、市内全体の約95%の生産量を占めています。市内で主として作られている品種は、「ふじ（収穫時期 11月上旬）」で全収穫量の50%以上を占めており、それ以外でも「ジョナゴールド（収穫時期 10月中旬～下旬）」、「王林（収穫時期 11月上旬）」などを生産しています。その他、さまざまな品種が8月～11月にかけて収穫・販売されており、時期によって食感・風味等が異なりますので、色々食べ比べて自分の好きな品種を探してみてくださいませ。青森駅前や道の駅「なみおが」アップルビル等で販売しています。



くじら餅

「久慈身餅（くじらもち）」は、魚の鱈とは全く関係がなく、「くじくしく感しまれる良い餅」という意味からこの名が付けられました。もともと京都のお菓子で、北前船で青森に運ばれたとされ、漁虫の久慈身餅は、米の粉、小豆、砂糖にクルミを混ぜて蒸し上げるのが特徴。クルミの香ばしさと控えめな甘さが良い人気の秘密です。津虫の久慈身餅店や旅館のお土産コーナー、道の駅ゆ～と流白でも取り扱っています。



なまこ商品

青森県はナマコの産地です。青森の家では正月をはじめの寒い時期には昨の物などで食卓に並びます。ナマコの関連商品は徐々に商品化され、加工食品はもちろんのこと、可愛いナマコのキャラクターをデザインしたものや、ナマコエキスを配合した石鹸など、種類は豊富です。アスパム、アイモリー等で取り扱っています。



陸奥湾産活ホタテ

津軽半島、下北半島に囲まれた陸奥湾は、八甲田山のブナ林から湧く水が流れ込み、ミネラル成分がたっぷり。そのため、陸奥湾で育つ青森ホタテは、甘みが豊かです。貝柱は弾力性がある良質。アウガ、青森県産センター（吉川市場）、アスパム等で販売しています。



あもりカシス

青森市は日本一のカシス産地です。あもりカシスは一粒一粒丁寧に手摘みで収穫するなど、生産者が丹精こめて育てています。商品はジャムやケーキ、ジュース、リキュールなどバラエティーに富んでいて、多くの産地に販売されています。アイモリー、新青森駅、アスパム等で取り扱っています。



りんご加工品

青森りんごの収穫量は、およそ45万トン。そのうち約15%が加工品に使われています。ジュースはもちろん、りんごが丸ごと入ったアップルパイやジャム、肉入りケーキなど、りんごの恵のお土産として喜ばれるものばかりです。新青森駅・青森駅・アスパム・アイモリー等で取り扱っています。



津軽製織

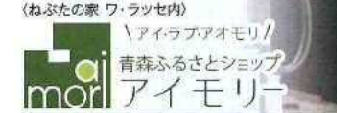
江戸・中国・朝鮮・洋を生産してきた津軽は、北前船がもたらした洋文化が、津軽製織の発展に大きく貢献しました。また、津軽製織は、伝統的な技術を守りながら、最新の技術を導入し、さらなる発展を遂げています。津軽製織は、伝統的な技術を守りながら、最新の技術を導入し、さらなる発展を遂げています。津軽製織は、伝統的な技術を守りながら、最新の技術を導入し、さらなる発展を遂げています。



ねぶたハネト人形

日本を代表する祭り之一的な青森市。伝統的な祭りの一つであるねぶた祭りの中心には、ねぶたの舟を動かすための人形ハネトがあります。ハネトは、ねぶたの舟を動かすための人形で、ねぶた祭りの中心には、ねぶたの舟を動かすための人形ハネトがあります。

青森市文化観光交流施設 「ねぶたの家 ワ・ラッセ」内にある青森ふるさとショップ。



ねぶた・漁師商品やねぶた節に関する制作品をはじめ、農林水産品や加工品、民芸品など、青森市の伝統、文化を象徴するお土産品の数々がここに揃っています。
① http://www.aomori-city-bussar.or.jp ② 017-752-8500



地場セレクト 青森県観光物産館アスパム

青森県の産業、観光、物産、緑土産品など、青森をまるごと紹介している観光物産館。館内には、観光組合やアウガ、CBO 取のマルチスクリーンによる3D映像や展示台などがあり、一年中、青森の祭りや季節に出会うことができます。他にも、地場産品を販売するセレクトショップや売場のホタテや農産物、加工品など、青森のすべてが一括で揃っています。詳しくは18ページをご覧ください。

土産を楽しむ

あもりもの 四季彩祭
伝統の技に北国青森の奥深さを知る

昔ながらではの風土が生み出し、先人達から受け継いだ数々の手法。細部にわたって職人のこだわりが感じられる作品のつくりこみは、作り上げる人の情熱と愛情。そして温もりを感じさせます。



善知鳥影タルム

その昔、青森市には、善知鳥影タルムというものが流行っていました。善知鳥影タルムは、青森市に伝わる伝統的な工芸品で、善知鳥の姿を模した陶器製の花瓶や鉢などがあります。善知鳥影タルムは、青森市に伝わる伝統的な工芸品で、善知鳥の姿を模した陶器製の花瓶や鉢などがあります。



津軽びいしょ

伝統的な津軽の文化を表現した、津軽びいしょ。津軽びいしょは、津軽の伝統的な工芸品で、津軽の文化を表現した、津軽びいしょ。津軽びいしょは、津軽の伝統的な工芸品で、津軽の文化を表現した、津軽びいしょ。

じよっぱりの心と魂がここににある

食文化を 楽しむ夜の街

夜の飲食通り、美酒美食のおもてなし

青森の夜の街といえは本町、食事処も多く、居酒屋から焼き鳥屋、会席料理店までさまざまありまう。また、青森駅前にも郷土料理を楽しむお宿が並び、食べる物を決めるのに迷ってしまうくらい、おてもてのグルメでも青森の旬の美味し料理、料理に飽きず、酒を満腹で帰ります。

津軽三味線の聴ける店

青森の夜は、津軽三味線を聴きながら、地酒とおいしい料理でゆめを愉しむ。

<p>高太古 ☎ 017(722)7727</p>	<p>りんご茶屋 ☎ 017(776)7402</p>
<p>味前居酒屋 うおり ☎ 017(775)5355</p>	<p>津軽三味線 ことぶきや ☎ 017(773)7134</p>
<p>あふたの たちか久 ☎ 017(723)4416</p>	<p>伊勢屋 水里園 ☎ 017(735)3988</p>
<p>りんご箱 ☎ 017(763)5155</p>	<p>津軽七つめの 漁屋酒場 ☎ 017(722)3443</p>

お泊まりのホテル・旅館などでも津軽三味線を聴くことができます。

- 浅生温泉旅館・海風閣 ☎ 017-752-4411
- 浅生観光ホテル ☎ 017-752-3355
- 青森県観光物産館 アスラム ☎ 017-735-5311

古川ニリニリ通り菓菓子

懐かしい甘さのあん玉クワシ

昭和30年代から家内丸デザイン

青森魚菜センター

のつけ丼

青森魚菜センターで、新鮮な食材をふんだんに使った、こだわりのつけ丼。旬の食材を、揚げたての衣で揚げ、お好みでソースやタルタルソースをかけていただきます。

青森魚菜センターで、新鮮な食材をふんだんに使った、こだわりのつけ丼。旬の食材を、揚げたての衣で揚げ、お好みでソースやタルタルソースをかけていただきます。

☎ 017-763-0065 ☎ のつけ丼 青森魚菜センター
営業時間 7:00~19:00 休 日 祭 日

帆立小屋

帆立小屋は、新鮮な食材をふんだんに使った、こだわりのつけ丼。旬の食材を、揚げたての衣で揚げ、お好みでソースやタルタルソースをかけていただきます。

☎ 017-757-9454 ☎ 帆立小屋
① 12月31日-1月1日
② 3分間予約 500円
※ 対象期間内に食べきれなかった場合は、未入庫に際してはキャンセル料がかかります。

その場で浜焼き!!

新鮮な食材をふんだんに使った、こだわりのつけ丼。旬の食材を、揚げたての衣で揚げ、お好みでソースやタルタルソースをかけていただきます。

☎ 017-723-2464 ☎ 約ったホタテを
営業時間 10:00~22:00 休 日 祭 日

アウガ新鮮市場

エリアマップ①

青森市青町1-3-7 アウガB1F
☎ 017-72-8000
営業時間 5:00~18:30 休 日 祭 日

青森魚菜センター

エリアマップ②

青森市吉川11-11-16 ☎ 017-777-1367
(のつけ丼青森市内所 ☎ 017-763-0065)
① 7:00~19:00 のつけ丼 16:30まで
休 日 祭 日

青森生鮮食品センター

エリアマップ③

青森市吉川11-12-6
☎ 017-723-2464
① 5:00~18:00 休 日 祭 日

アウガ新鮮市場

エリアマップ④

青森市青町1-3-7 アウガB1F
☎ 017-72-8000
営業時間 5:00~18:30 休 日 祭 日

青森の市場

旬の海の幸がざらり!

あもりの 食文化

青森の食に心を満たす 市場を歩く

青森・街なか食の散歩道市場を歩く

青森には、駅前を中心とした市場が点在し、店舗には、むつ湾でとれた水揚げの新鮮な魚介類が並び、青森駅前には、むつ湾の魚介類を加工した、約80店舗の魚屋、惣菜屋、肉屋、生鮮野菜などの店舗や新鮮な食材が採れる飲食店が並び、アウガ新鮮市場があります。

また、昭和40年代から青森市民の台所として賑わってきた古川市場なども訪れてみましょう。なかでも、青森魚菜センターでは、さまざまなお肉のつけ丼が味わえます。ぜひ、市場でお肉とお肉の味を満腹に堪能してください。

エリアマップ

エリアマップ

街で見つけた郷愁を誘う ふるさとの味

青森にはその季節になると登場する懐かしい味があります。あん玉やチリンチリンアイスは、子どもの頃からあたり前に食べたきた、ふるさとならではの味。

出張者や観光客のリピーターが多
甘室堂の芳香
バナナ最中
バナナ最中

明治30年代の甘室堂に現在も、その味を伝えるために、お菓子職人が、お菓子作り方を伝えている。昔ながらの伝統を守り、お菓子作りを続ける甘室堂。お菓子作りは、お菓子職人の魂です。お菓子作りは、お菓子職人の魂です。お菓子作りは、お菓子職人の魂です。

チリンチリンアイス

懐かしの昔ながらの もりもりアイス

お菓子作りは、お菓子職人の魂です。お菓子作りは、お菓子職人の魂です。お菓子作りは、お菓子職人の魂です。



夕暮れの北防波堤

青森港北防波堤からのベイブリッジの眺め

海のむこうに遠くへ太陽が沈んでも神秘的に見える北防波堤。この瞬間だけが数分は晴々とも忘れ、息をのんで見入ってしまう。澄みそうに沈まない太陽は斜一刻と違う表情を魅せ、海辺に建つアスパムやベイブリッジが、緑やオレンジ、靑には紫色へと別々に変化していきま。その景色はまるで絵巻物を見ているかのような様子。

夜の青森に浸る

ライトアップされたベイブリッジ、その周辺の灯が海面に映りこみ、キラキラと輝き、昼間と違った幻想的で洒落たベイエリアが楽しめます。

青森県観光物産館 アスパム

青森の「A」をイメージした高さ76mの外観が特徴的。ねぶた祭や十和田湖、下北半島や世界自然遺産の神山など臨海観光あふれる360度(3面)全周映像によるパノラマ映画を上映。展望レストランや観望台などもあり、お土産コーナーは定番からこだわり品まで品数豊富。津軽三味線の無料演奏会も連日開催。

●青森市中央1-14-0 ●017-735-5311 ●青森駅前
から徒歩8分 ●観望台小学生200円、中・高生300円、
大人400円/パノラマ観望台小学生300円、中・高生450円、
大人600円(ネット料金あり) ●9:00~19:00
(4~10月19:00~18:00)11~3月
※休館日によって営業時間が異なります。
詳しくはホームページをご覧ください。

アスパム 検索



A-FACTORY エリアマップ②

青森ウオーターフロントエリアの各物産スポット。青森県産のどんごを用いたシールドル・ジューズ等の加工・販売を行うほか、青森県産の様々な食材を用いた和食・飲食店もあります。

●青森市月形1-4-2 ●017-752-1890 ●9:00~21:00
(店舗ごと、季節ごとで異なります) ●不特定



ねぶたの家 ワ・ラッセ エリアマップ①

ねぶた祭に因んで誕生した大型ねぶたのまかさまでねぶたグッズを展示紹介。本物のねぶたの前で読ん体験や造りある感動と豊富な資料で、ねぶたの魅力をおさげます。海が目の前に広がる。青森の食材を使ったおしゃれなレストランや、ねぶたグッズや特産品を揃えたショップもあります。

●青森市中央1-1-1 ●017-752-1311 ●54~29 9:00~
19:00 ●3月~4月 9:00~18:00 ●3月31日、10月31日、12月31日、
1月18日 ●小学生250円、高校生450円、大人
600円(レストランショップは別料金) ●ワ・ラッセ 検索



赤い糸 モニュメント「ふたり」

青森市と函館市のツインシティ提携20周年を記念して制作したもので、日制中学を青森市で過ごした太宰治(1903-1948)が小説『霧』(1907)の中で、若菜治と青森港橋から海を渡る運船船長妹島から、運命の女性と結ばれる「赤い糸」について語り合った挿話を基に、函館と青森の両市市民の協力により、お互いの絆を深めるモニュメントとして、両港にそれぞれ向かい合うように設置したものです。

エリアマップ⑨



青函ワールド

青函ワールドとは、昭和30年代の「駅が朝市」、「青森駅舎」、「青函連絡船乗場」の様子を、有名人等身大の人形や施設などで再現した八甲田丸内のテーマパークです。当時の風景を忠実に再現しており、「ひんご長屋」、「湖き手屋」、「たまごの鑑賞」など、現在では見ることができない懐かしい風景を再現しており、3階の有料コーナーを中心に、船内全体に展示しています。



青函連絡船 メモリアルシップ八甲田丸

1988年に海上された青函一環路を結ぶ青函連絡船。その真実の船歴となった八甲田丸をそのまま再現した日本初の鉄道連絡船ミュージアム。約80年にもわたって津軽海峡を行き交った連絡船の歴史や船の構造などを立体的なスケールで展示。当時のままの本物のエンジンルームやブリックなども見られます。

エリアマップ⑧



津軽海峡冬景色歌碑群

八甲田丸船倉には、センサーで反照し、メモディーが光る「津軽海峡冬景色歌碑群」があり、郷土を誇ります。

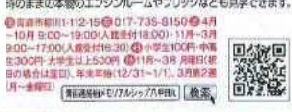
エリアマップ⑦



青い海公園

かつて漁港としてにぎわった場所です。芝生広場、展望台などがあり、春から夏にかけては「ねぶた」の制作小屋が立ち並び「ねぶたフェスティバル」が賑わいます。海の中の、ウッドデッキで眺望海を眺めながらのんびり過ごすことができます。

エリアマップ⑩



八甲田丸スクリーモニュメント

1,800馬力のディーゼルエンジン8基を横に並べた総出力12,900馬力という大きなエネルギーを必要とした八甲田丸。運行された連絡船の中では最も長い23年7ヶ月の間、開設された。かつては水面上にあった巨大なスクリーに飾ることができました。



エリアマップ⑤



青森市 ヒストリーサークル

「子どもたちに青森市の歴史を伝えてほしい」と市民からの寄付により制作されたもので、2倍年以前前の真珠大塚家から2010年東北新幹線新青森駅開業まで、青森市が発展してきた歴史の歩みをイラストと文字で表現して視覚に訴えかけたサークル状のモニュメントです。

●017-734-5178 ●青森市観光課



街中の温泉・銭湯

青森市内には温泉・銭湯が数多く、湯気の風景も素晴らしい。昔は銭湯と言えば風呂、富士山の湯をイメージする人も多いですが、今ではサウナ付きや打たせ湯があるなどイメージもずいぶん変わってきました。昔ながらの湯ももちろん感じる所もあり。青森駅前から徒歩で行ける温泉も、近くまで出かけずに近場で天然温泉に入ることができます。



パサーージュ広場

パサーージュとはフランス語で小径(こみち)を意味し、青森市中心街の散策の休息と食事スポットに最適です。シンボルタワーを囲むように並ぶショップの多くのもみしい。パサーージュ広場内では、将来的に中心市街地でショップ経営などを目指す方が出店、フリーマーケットやビアガーデンなども開催されます。

●青森市中央1-6-5 ●青森駅前から徒歩3分



観光客や市民の皆さんに「まち歩き」を楽しんでいただくためのまちが観光スポット等をめぐる散策コースをご用意しています。事前にお申し込みいただく「あomorい街てくガイド」がご案内いたします。

A 風景コース 2km [約2時間]
青函連絡船と津軽海峡四季景色を訪ねて ~潮の香りあふれるお祭り会場~
青森は通年を通して発展してきました。明治の歩みを感じながら、アツカや戦時中歴史アスレ、八甲田公園を巡り、手紙に観光とお土産の購入ができる、青森に来たら「まち歩き」の定番の風景をぜひこのコースで。

B 歴史と文化コース 2.5km [約2時間15分]
横方志功と青森発祥の地を巡る ~青森の神話と16世紀の四ヶ寺~
世界が誇る青森市名産品は横方志功、小笠原・太宰治などのゆかりの地のおかげで、かつて青森を守りつづけてきた歴史が感じられます。青森の歴史に思いを馳せながら、青森の発展を考えた家や、まち歩きに携わっている人々の活動や歴史を巡るコースです。

C 味とショッピングコース 1.3km [約1時間30分]
観て! 味で!! 探検!!!
〜古川市街と中心商店街の一流逸品〜
生鮮食品などを扱うたくさんのお店のあふれる、青森市街の中心「古川市街」や昭和の雰囲気が残る「通り」、開放感あふれる「あomorい」モニュメント、あomorい(空想)を気軽に味わえるコースです。

【青森市観光交流情報センター】 ●017-733-4670 ●古川市街

青森市観光交流情報センター
青森市の観光や交流に関する情報提供や宿泊施設(当日宿泊のみ)を行う施設です。青森市街の散策施設(津・八甲田)を歩くに合わせ、お土産や観光品を販売するサービス(有料)も行っております。

●青森市中央1丁目1-25 ●017-723-4670 ●9:30~19:00(年中無休)

青森ベイエリア散策券
ベイエリア3館(ワ・ラッセ、八甲田丸、アスパム)共通券でお得に楽しもう。大人1,300円、高校生900円、中学生700円、小学生500円。
上記3館と青森駅、新青森駅の観光案内所などに販売

エリアマップ⑥



エリアマップ